

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	加藤 幹郎	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	9932		事務事業名称	石綿セメント管更新事業						短縮コード	経常	9932	臨時	
予算区分	会計	64	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02	改良工事費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
国の指導や東日本大震災の教訓から石綿セメント管を耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管に布設替えする。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		6本の柱（章）	05	第5章快適生活都市をめざして						
石綿セメント管を耐久性・耐震性に優れた耐震管に更新することが急務となっている。						大項目（節）	03	第3節水道						
						中 項 目	01	1. 水道						
						小 項 目	03	(3)災害・環境対策の強化						
						細 項 目	02	②緊急時対策の推進						
				実施計画の計画事業	5079	配水管等改良事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	石綿セメント管の更新							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 石綿セメント管から耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管への布設替えを，11,328m予定し，10,910.1m実施した。							
	※平成24年度に計画していること： 耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管への布設替えを13,376m計画している。							
意図 （何を狙っているのか）	石綿セメント管を地震・災害に強いダクタイル鋳鉄管へ布設替えし,管路の耐震化を図るとともに管網整備を推進する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 2 年度	2 3 年度		2 4 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	石綿セメント管の更新	m	111,565.49	100,870.49	100,655.39	87,279.39	
	指標 2							
	指標 3							
活動指標	指標 1	計画布設替え距離	m	10,352.65	10,695	10,910.1	13,376	
	指標 2							
	指標 3							
成果指標	指標 1	石綿セメント管更新率	%	60.9	64.7	64.7	69.4	
	指標 2							
	指標 3							
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	9932	事務事業名称	石綿セメント管更新事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			設計積算システムと設計業務委託を有効に活用し、早期完了を図るが、経費の増大が見込まれる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			早期完了を目指すための事業費の増大が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
石綿セメント管更新事業の早期完了。									

所属長コメント	耐用年数が過ぎた水道管の更新のため、設計業務の民間委託等により、計画的に耐震性の優れたダクタイル鋳鉄管に布設替し、安心・安全な水の安定供給の確保のため、引き続き計画的に整備をしていく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			設計業務委託を推進すると共に、効率的な整備手法を検討し、計画通りの事業展開を図ること。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									